

3. 地域と保護者・祖父母会

簸川平野の西端に位置し、北は北山に西は日本海に面し、東と南は田畑に囲まれている。昔から出雲大社の門前町として栄えたが、人口は年々減少の一途をたどり、現在の本園地区の人口はおよそ6,300人である。

職業的には他地域に出かけるサラリーマン家庭が多く、次に商業と続き、漁業や農業従事者は少ない。保護者は、教育に関心が深く協力的で熱心である。開園当初から保護者会を結成し、会員自身の研鑽に励むとともに、園行事などにも積極的に参加している。また園児の約65%が祖父母と同居しており、核家族の場合も近くに祖父母が住んでいるため、ほとんどの園児が祖父母と身近にふれあいながら生活している。本園ではこういった環境を生かし、平成7年より祖父母会が結成され、会員相互のコミュニケーションの場になると同時に、自らすすんで園舎内外の清掃活動、野菜や草花などの栽培、かしわもち作り、そうめん流し、もちつきなどの食育活動等活発に活動されており、本園の大きな特徴である。